

## 「景観つて何?」ワークシヨップ

今年一月に開催された景観シンボジウムや二月の景観条例公布、四月の景観計画施行と、『奥出雲町らしい景観づくりへの環境が整う中、次世代を担う子どもたちにも景観に興味を持つてもらおうと、『景観つて何?』ワークシヨップ』が六月十三日、横田中学校ランチルームで行われました。

このワークシヨップは、総合的学習（ふるさと学習）の授業の一環として行われ、一年生五十人にNPO法人まつえまちづくり塾のスタッフが加わり、六つのグループになって活動を行いました。まずスタッフが「景観とは、そこにある景色だけでなく、それを見る人がどのように感じるかで成り立つもの。いまみんなが持っている横田地域のイメージはどんなものか話してほしい」と語りかけ、生徒たちは自分の持っているイメージをメモに書き、活動を始めました。その後、事前に準備された町内の景観写真で、

ついで、グループ内で互いに意見を出し合いました。

生徒たちは、はじめはイメージを言葉にして表すことに苦労していましたが、写真を見ながらグループで話し合って意見交換を楽しんでいました。

最後に生徒から「ワークシヨップを通して、今まで無意識に見ていた景色を意識的に見ることで、自分にとって心地いい景色はどんなものかに気付いたり、自分とは異なるいろいろな見方があることに驚いたりして意見交換を楽しんでいました。



国定公園「吾妻山」（標高一、二三九メートル）の山開きが六月九日、麓の第二駐車場で行われました。

ヨップを通して素晴らしい景観に気付くことができた。これからもお気に入りの景観を探していきたい」とスタッフへお礼があり、生徒たちにとって充実したワークシヨップとなりました。

## 登山者の安全を願つて 吾妻山山開き

神事には、井上町長や地元自治会、庄原市の来賓など約四十人が出席し、今年一年の山の安全を祈願しました。

▲神事の様子

### 宝くじが地域活動をお助け

#### ◆◆平成24年度 宝くじコミュニティ助成事業◆◆

#### コミュニティ活動に必要な備品が整備されました

宝くじコミュニティ助成事業は、宝くじの収入を財源とし、地域のコミュニティの健全な発展を図るためのもので、財自治総合センターが宝くじの社会貢献事業の一環として行っています。

今年度、みざわの館を運営するとんぼの会と亀嵩地区久比須自治会で助成金による備品が整備されました。



なお、コミュニティ助成事業には、次の事業があります。

- ①一般コミュニティ助成事業
  - ②コミュニティセンター助成事業
  - ③地域防災組織育成助成事業
  - ④青少年健全育成助成事業
  - ⑤地域の芸術環境づくり助成事業
  - ⑥地域国際化推進助成事業
  - ⑦活力ある地域づくり助成事業
- （お問い合わせ先）  
役場総務課総務グループ  
有線：31-5224/電話：54-2505



## 教育委員の人事異動

5月24日付けをもって、松浦昇教育委員長が任期満了となり、5月17日開会の第3回奥出雲町議会臨時会において、新しい教育委員に荒金勇吉氏（横田）が任命され、議会の同意が得られました。これを受け、5月25日教育委員会が開催され、教育委員長に糸原直子氏（大谷）が就任されました。

この度、任期満了により五月二十四日をもって、奥出雲町教育委員を退任いたしました。浅学非才な私には甚だ大任ではございましたが、皆様の支援ご協力により、大過なく任務を全うすることができましたこと、改めて感謝申し上げます。顧みますと在任中は教育委員会として特に重点的に取り組んで参りましたのは、少子化による小学校の極小規模校の問題、幼保の一元化の問題でした。これらの問題につきまして将来を見通した視点に立て協議検討を重ね、教育委員会としての方向性を確立することができました。特に幼保の一元化につきましては、少子化による乳幼児の減少と核家族化に伴う共働き家庭の状況から、幼稚園と保育所の一体化を検討して参りました。教育委員会としましては、あくまでも幼児教育を視点において検討を重ねた結果、幼稚園教育を組み込み幼保の一元化の方向で教育環境を整えることとしました。

今後とも奥出雲町の様々な教育に関する諸問題につきまして『奥出雲町の子供は宝物』と言ふ視点から学校、地域、家庭が一体となることが重要であり、私もこれからは一人の町民として支援していきたいと思います。

### 退任の挨拶



前教育委員長  
松浦 昇

### 就任の挨拶



教育委員長  
糸原 直子

### 就任の挨拶



教育委員  
荒金 勇吉

この度、教育委員長を拝命いたしました。浅学非才な私には、この重責は甚だ不安ですが、関係の皆様の温かいご支援をいただきまして、力の限り努めたいと存じます。

さて、教育委員会では、昨年度末、「奥出雲町の教育」が策定されました。学校教育並びに社会教育の現状と課題を分析し、これから奥出雲町教育の方向性を示し、町民一人一人が心豊かに生涯を送れることを願つて策定されたものです。生涯学習の拠点である公民館の重要性、学校教育と連携したふるさと教育、読書活動の推進、スポーツ、文化芸術活動等々、教育全般にわたる計画です。この計画は効果的に具現化していかなければならぬと考えています。

この度、教育委員の大任をお受けすることとなりました。私ですが、五人の子どもを持ち、兄弟とは言え、それぞれに個性があり、性格や考え方もみな違います。そして、それぞれの希望を叶えようと夢ふくらませ成長する中で、時に厳しい現実の前で挫折感を味わいながら、それでも進んでいく姿を目の当たりにし、子育ては親も共に学び続け、親も成長しなくてはならない事の大切さを実感しています。

将来の奥出雲町を支えていくのは、他の誰でもなく、ここ奥出雲町で生まれた子どもたちです。それ故、教育は将来の誰でもなく、ここ奥出雲町で生まれた子どもたちです。町づくりの基本であると考え、地域、学校、家庭が連携し、より信頼関係を深めることが大切です。

奥出雲町の教育のために子育て現役の保護者としての観点を生かし、微力ながら貢献できますように努力して参りたいと思います。

町民の皆さまのご理解、ご支援、ご指導をいただきますようお願い申し上げます。